

■ 平成28年9月2日 病院を核としたまちづくり推進特別委員会県内調査

1 新奈良総合医療センター建設予定地

- 【調査目的】(1) 新奈良総合医療センターの建築概要について
(2) 新病院の機能について

【調査概要】

(1) 新奈良総合医療センターの建築概要について

<説明の概要>

●新病院整備のポイント

①新病院の目指す医療機能の整備

・救急医療

1次救急から3次救急まで受け入れ可能な一体的救命救急センターの整備

・がん医療

最新の放射線治療機器3台設置のほか、PET検査室や化学療法室の拡充

・周産期医療

高リスクの妊婦さんの出産も安心な集中治療室の機能と規模を拡大

②光と眺望のあふれる病院に

・病室を全室南側に配置

・外来待合等をできる限り窓際に配置

・治療室や地下放射線治療待合等にも自然光が入るよう光庭（吹き抜け）を多く配置

・大きな吹き抜け空間の玄関ホールや外来待合ホール

・コーヒーショップを1階と2階、レストランを7階に設置

・光庭、窓際近くにカンファレンス室、当直室等を設置

③教育研修等の整備

・職員のスキルアップだけでなく地域の医療従事者に研修していただけるように整備

・医師、看護師等の海外留学や外国人医療従事者の受け入れにも対応

●建築概要

構造：鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）

階数：地下1階、地上7階

高さ：24.9m

建築面積：約14,000㎡

延床面積：約64,000㎡

病床数：540床程度

(2) 新病院の機能について

<説明の概要>

●新病院の医療機能

①救命救急

救急患者を断らない救急医療の実践

②がん

がんになっても安心できる質の高い医療を提供

③周産期

リスクの高い妊婦の方も安心してお産ができる環境を整備

④小児医療

急性期を中心とした小児医療の拠点

⑤精神医療

身体疾患を合併する精神疾患患者の受け入れ拠点

⑥糖尿病

地域の糖尿病治療の拠点

⑦災害医療

災害時においても新病院機能を維持する災害に強い病院

●医師確保の状況

| | H26. 4月 | H27. 4月 | H28. 4月 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 医師 (専攻医を含む) | 103名 | 113名 | 116名 |
| 初期臨床研修医 | 19名 | 22名 | 30名 |
| 看護師 | 434名 | 448名 | 480名 |

【質疑応答】

Q：医学部を卒業してすぐに勤務される医師の数が急増している印象があるが、研修体制等に問題はないか。

A：研修医とは異なり、3年目、4年目の専攻医については十分な戦力になる。専門性の高いところでは、指導医等が入りチームとして対応している。

Q：総合医療センターでは、どちらの医局在籍者が多いか。

A：ほとんどが奈良医大の医局に在籍しています。

Q：540床の病院であれば、どれくらいの医師が必要か。

A：どのような医療を行うかによって異なるが、あと30名程度は必要と考えている。

Q：540床の根拠は何か。

A：十分な医療機能を備えて救命救急に対応するにあたって現在の400床では不十分で、奈良県の人口構成等を勘案すると、500床程度が一番中核として機能すると考えている。

Q：看護師はどれくらいの人数が必要か。

A：あと100名から150名必要と考える。

Q：医薬分業についてはどのように考えるか。

A：現在も院外で行っています。

